



12月に入り、2025年も残すところあと1か月となりました。陰暦では「師走（しわす）」と呼ばれ、師が走るほど忙しい時期とされますが、「仕果つ」「歳果る月」など、年の終わりを意味する語源もあるそうです。社会の変化が加速したこの一年。走るもよし、立ち止まるもよし。皆さんはどんな締めくくりを迎えますか？



- ・10月決算法人の確定申告
- ・4月決算法人の中間（予定）申告
- ・給与所得の年末調整
- ・固定資産税第3期分納付



企業経営や税務会計、業種ごとに役立つ情報を紹介していきます 経営虎の巻 第132回 信頼は経営資源である

経営において「信頼」は、目には見えませんが、極めて重要な資源です。

資金や人材、情報といった経営資源は数値化できますが、一方で信頼は定量化が難しく、それらを支える土台となります。

信頼がある組織では、意思決定が迅速になり、情報共有が円滑に進みます。逆に、信頼が損なわれた組織では、確認や承認に時間がかかり、挑戦を避ける風土が生まれます。つまり、信頼の有無は、組織のスピードと柔軟性に直結します。

信頼は一朝一夕には築けません。経営者の言動の一貫性、約束の履行、失敗への誠実な対応など、日々の積み重ねが信頼を育みます。また、社員同士の信頼関係も、組織の文化として醸成されるべきものです。

経営環境が不確実性を増す中、信頼は変化に耐えうる組織をつくる力となります。数字に表れないからこそ、意識的に育てようとする姿勢が求められます。



生命保険を活用した相続対策

相続対策の大きな柱は「相続財産の圧縮」と「納税資金の確保」の2本です。両方の効果をあわせ持つ生命保険は、相続対策における基本ツール（基本中の基本）と言っても過言ではありません。その仕組みと活用法を紹介します。

1. 非課税枠による財産圧縮 相続人が受け取る死亡保険金には、「500万円×法定相続人の数」という非課税枠が設けられています。たとえば相続人が3人（配偶者と子ども2人）の場合、1,500万円までが非課税となり、預金や株式にはない「生命保険特有の特権」を受けられます。近年は、高齢者の方や持病のある方でも加入しやすい終身保険も登場しており、預金から生命保険へと財産の「置き場を変えるだけ」で、非課税枠まで財産を圧縮することが可能です。

2. 納税資金の確保 遺産の多くが自宅や非上場株式といった「換金しにくい財産」の場合、相続税を期限内に支払うのが難しくなります。生命保険なら契約者の死亡直後に現金が支払われるため、相続税の納付資金を確実に確保でき、「売りたいくない財産を売らざるを得ない」というシナリオを回避できます。さらに、外貨建て終身保険などを活用すれば、支払保険料の1.5～2倍程度の保障が得られる商品もあり、前述の非課税枠と併用し、生命保険で増やした資金によって納税資金を支払う方法はオーソドックスな手法の一つとなっています。

3. スムーズな遺産分割 生命保険は「受取人を指定できる」という特性から、円滑な遺産分割対策としても有効です。

【チェックポイント】

1. 非課税枠の確認 ご加入中の保険金額が非課税枠を最大限活用できる金額になっているか確認しましょう。不足している場合は見直しを検討する必要があります。

2. 受取人の確認 生命保険の受取人が、資金を渡したい相手（納税資金を負担する人など）になっているかチェックしましょう。受取人はいつでも変更が可能です。

3. 保険料負担者（契約者）の確認 誰が保険料を支払っているか（契約者）によって課税される税金の種類（相続税、所得税、贈与税）が変わります。

「うちの保険は、今の家族構成や財産構成に合っている？」と少しでも疑問に感じたら、ぜひお気軽にご相談ください。



解体新書

新スタッフの自己紹介と上司の激励メッセージです

児嶋 健至（にじま たけし）

- 部署 資産税部
- 誕生日 12月22日
- 職歴 会計事務所
- 趣味・特技 漫画・アニメ
- プチ自慢 1分あれば寝ることができます。



あいさつ 大学卒業以来、一貫して税理士業界で研鑽を積み、お客様のサポートに尽力してまいりました。近年は体力の衰えを感じることもありますが、チームメンバーの献身的なサポートを得て、これまで培ってきた専門知識と経験を活かし、引き続きお客様のために全力を尽くす所存です。

上司からのメッセージ 今年の春に入社いただいた児嶋さんは他県の大手会計事務所での相続部門の統括リーダーを務めていました。「相続・贈与・事業承継」に関するその道のプロで超即戦力です！長年にわたり培ったノウハウは非常に豊富で、既にいくつもの相続案件に取り組まれている大活躍されています。児嶋さんからあふれる豊富な知識やお仕事に対する熱意・姿勢は学ぶことが多く、周囲のスタッフにも良い影響を与えてくれています。



Vol.19
NotebookLMのススメ

GoogleのNotebookLMは、あなたが指定した資料だけを情報源にする、賢いAIアシスタントです。

使用するのはGoogleドライブの文書やPDF、Webサイトなどを読み込ませ、その内容についてAIと対話しながら作業を進められます。例えば、研修資料や社内規定のファイルを読み込ませ、「経費精算の締め日と申請方法を教えて」と質問すれば、AIが即座に回答します。

また、複数の報告書や過去の議事録から「来週の定例会議に向けて、X案件の進捗状況を3点に要約して」と指示するだけで、会議の準備を効率化できます。利用者のデータはAIの学習に使われないため、企業の機密情報も安心して扱うことができます。

情報収集や資料作成の時間を劇的に短縮し、知識の共有や迅速な意思決定を支援することで、日々の業務を効率化し、より創造的な仕事に集中できるようになる画期的なツールです。

指定した情報源から音声解説や動画解説、フラッシュカードやテストなどを作成する機能も用意されているので、利活用してみたいかがでしょうか？

NotebookLMの詳細参考URL
<https://support.google.com/notebooklm/answer/16164461>

株式会社 マスエージェント システム企画課 宮脇 誠
※本記事に関する内容・業務改善依頼等ありましたら、お気軽にご相談ください。

